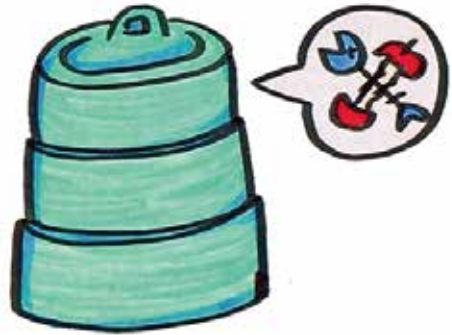




環境を考える ―バンクーバーの場合―

Garbage and Recyclable collection in Vancouver

バンクーバーは、2020年までに「世界で最も環境にやさしいグリーンな街作り」を目指しているので、生ゴミのリサイクルのための「コンポスト」にとっても熱心です。



「コンポスト」とは堆肥(たいひ)のことです。生ゴミや木の枝や落ち葉など、肥料にできるものをこう呼びます。

コンポストは回収された後に、ガーデン用の土や肥料として加工され、お店で販売されます。

植物が育つ
↓
枯れる
↓
堆肥として利用される
↓
新しい植物が育つ



というリサイクルを回していくのです。

日本では

- 燃えるゴミ
- 不燃ゴミ
- 資源ゴミ
- 粗大ゴミ

と分けますが、こちらではゴミの分け方が違います。

- Food scraps
食品などの生ゴミと、庭木などの植物ゴミ用。緑色のボックスに入れる。コンポスト(肥料ゴミ)用のボックスとして、庭に置いてある場合が多い。

- Containers
プラスチック容器や缶類、ドリンクの紙パックなど。青いボックスに入れる。

- Papers
紙類。新聞紙は水色のシールのボックス、その他の紙は黄色のシールのボックスに入れる。



水色のシールのボックスには新聞紙を入れる



バンクーバーでは普通、ゴミ回収は週に一度だけです。

郊外の一軒家ですと、360リットルも入る大きなゴミ箱が家の外に設置されていて、収集車が早朝にやって来て回収します。

巨大な回収車で、機械がコンテナごと持ち上げて回収するので、運転手1人だけで済みます。



CANADIAN WASTEの回収車とボックス



Dean Lucas(ディーン・ルーカス)
カナダ、バンクーバー出身。専攻は人文科学、歴史、コンピューターサイエンス。東京都内在住。大手企業や専門学校、中学、高校で英語学習カリキュラムに携わる。現在は研究のために、カナダに滞在中。

バンクーバーでは「CANADIAN WASTE」という会社が回収業者としてはメジャーで、ロゴ(WMのマーク)付きのボックスが市内のあちこちで見られます。



コンテナをつかんで持ち上げ、逆さにして、トラック上部に開いた穴にザッと流し込む

(イラスト)イラストAC

Key

Phrases

•In Vancouver everything that can't be recycled is sent to a landfill and buried underground.

バンクーバーでは、リサイクルできないゴミはすべて廃棄場に集められて埋められます。

*landfill ゴミ廃棄場の埋立地

Key

Phrases

•Vancouver does compost food waste.

バンクーバーでは食品廃棄物を堆肥にします。

*compost 生ゴミなどを発酵させて、植物を育てる肥料にすること